

眼科

臨床経験を積むには、全国的にも手術件数の多い当院は最適な研修施設です。

● 診療科の紹介 ●

香川大学眼科では、県内だけでなく、近隣県からも紹介患者があり、年間手術件数は内眼手術1,500件、外眼手術150件、レーザー手術350件、硝子体注射数は5,000件と、眼科専門研修に必要かつ十分な症例数・手術件数を有しています。主に網膜硝子体・ぶどう膜グループと緑内障グループにわかれており、角結膜、白内障、弱視、斜視、神経眼科、眼窩、眼付属器、他科診療連携については各専門領域の責任者が指導医となり、診断、治療の考え方や手技の指導にあたっています。院内には周産期母子医療センター、がんセンター等も備わっており、他科との連携委員会を中心に、あらゆる全身疾患に関わる眼症状も研修可能となっています。

● 専門研修プログラムの特徴 ●

香川大学眼科専門研修プログラムでは、専門研修基幹施設である当院と研修施設において、それぞれの特徴を活かした眼科研修を行い、定められた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。香川大学の社会人大学院に進学し、診療・研修を行いながら研究を行うことも可能です。専攻医の希望になるべく沿ったプログラムを構築し、いずれのコースを選んでも最終的に研修到達目標に達することができるようにローテーションを調整し、また、専攻医間で格差がつかないような工夫もしていきます。

連携施設：三豊総合病院、白井病院、香川県済生会病院、坂出市立病院、屋島総合病院、リつりん病院、高松赤十字病院、香川県立中央病院、

倉敷中央病院、大阪赤十字病院

関連病院：小豆島中央病院、さぬき市民病院

● 研修に関する行事 ●

病棟・外来診察、手術、抄読会、カンファレンス（術前・症例カンファ、他施設との合同カンファ等）、研修医講義（院内&院外）、教授回診、ウェットラボ（豚眼を用いた手術基本手技の習得）、など

◎病院主催の講習会（医療安全、感染対策、医療倫理）に規定数出席

◎月に数回の宅直業務

◎7月～10月 1週間の夏休み ◎12月～3月 1週間の冬休み

◎年に数回の学術集会、懇親会

● 取得できる専門医資格および技能 ●

研修プログラムの到達目標である専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性、社会性を身につけ、眼科専門医を取得することを目標とします。

